

春
夏
秋
冬

31

四季²⁰¹⁵コンサートだより

2015年10月1日発行
浜松音楽友の会
事務局:〒430-0904浜松市中央区中沢町44-11
電話連絡(053)473-3579(原)

e-mail:hamatomo@palette.plala.or.jp
http://www6.plala.or.jp/hamatomo/

音楽！ 音学？ 音我苦！！

ヴァイオリニスト 篠崎史紀

私たちの周りでは、沢山の音楽が毎日流れている。ジャンルもポップス、民族音楽、JAZZ、クラシック等など、色々な種類の音楽が、世界中に存在するが、それらには決して優劣などは存在しない。書いて字のごとく、音を楽しむことこそが、「音楽」なのである。

私も、音楽を聴く時は、その流れる音の素晴らしさに心が動き感動する。

そう！……… 聴く時は………
演奏をするとなると、これは、また、別のお話になってくる。私の場合でお話すると、ジャンルのにはクラシックという分野になる。

………となると………、
まずは、バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン………etc………

というように作曲家の絶対的な存在がある。作曲家ありきの作品。

これが、他のジャンルとは大きく違うところになると思う。そして、その作曲家たちの強い意志を閉じ込めている「楽譜」という存在がある。

極端に言えば縦の座標軸と横の時間軸を基本とし、細かい記号や僅かなる感情的表現の単語によって表示されているものが楽譜なのだが、これを読み取るために必要になる項目がある。

楽典という記号や感情的表現の単語。
歴史の流れからくる作曲家の時代背景。
本人や影響された人間、周りの親族や友人達による残された間見などから推測出来る人物像。

そして、音の成り立ちのキーワードでもある基本的な和声学。これらを学ばないと、演奏をしたとしても、とても人前での演奏で、聴けるような音楽にならない。

………そう………音を学ぶ音学が必要になるのである。

そして、私たち演奏家はここでは終われないのである。

先程の項目をさらに掘り下げ、作曲家の癖や好みを分析して、作曲家本人が考えたと思われる原型のアイデアを探し出すという、まるで、名探偵に匹敵する程のプロファイルをしていくのである。

まだ、ここでは終われない………。
その後、今の現代においての、先人達が積み上げた演奏法を試しながら、最も自分の感情や思考に近い自分らしい演奏に近付けなくてはならない。

そう………迷走する迷探偵………、
自分らしさを生む苦しみ………、
………音………我………苦………オンガク………となる！
しかし、皆さん！

そんな、見えない場所の事は気になさらず、演奏会を思いっきり楽しんでください。

音楽は、批評するために存在しているのではありません。音楽を通して、言語、人種、宗教、ゼネレーション、そして、時空までも超えて一瞬にして世界中の人々が喜怒哀楽を共有出来る人間が創造した最高のコミュニケーションツールだからです！！

音楽の持つ『マジック・パワー』は、人々を強く結びつけてくれます。そして、この人類最高のコミュニケーションツールを持って、世界中の人々に平和と幸せが訪れるのを強く願っています。



写真：K.MIURA



「春のコンサート」4月13日

浜松に根づく四季の会

友の会会員 有本勝彦

「四季のコンサート」は、はまホールでの31年間の活動のあと、今年からアクト中ホールに移りました。順調なすべりだしにほっとしました。移転に際しては、さまざまな困難があったと思いますが、それを乗り越えたスタッフの方々に浜松の女子力を強く感じます。この全国でも稀な活動をしている「音楽友の会」のパワーアップに期待しています。

私は、「四季のコンサート」を、10年ほど前から、ほとんど全部聴きエンジョイしていますが、個人的には、オペラの歌唱に心が惹かれます。中でも抜けるようなソプラノの声が好きです。前回の横山さんのソプラノには満足しました。

最近「TSUKEMEN」のようなグループも登場してきています。このような新しい潮流が若者にクラシック音楽をより身近にしてくれているように思います。

これからも「四季のコンサート」を楽しみにしています。ひとつ残念に思うことは、はまホールからアクト中ホールへの移転に伴い、経費の関係からか、年一回の「浜松出身の演奏家シリーズ」がなくなったことです。このシリーズを目指して頑張ってきた若き音楽家たち、それに私達、聴く者も残念に思っています。難しいことかもしれませんが、復活にむけてこれからも頑張ってください。

「四季のコンサート」と我が家族の歩み

友の会会員 花尾四郎

私と家内は音楽友の会の第1回コンサートの時からの会員です。そして3人の子供たちはこの会の託児の方々に大変お世話になりました。

第1回コンサート、1歳の長男の託児をしていただいて以降、長女、次女もお願いしました。わずかな費用で安心して託児していただけるシステムのおかげで我々夫婦はコンサートに専念できました。

託児がきっかけでこんなこともありました。この会に関わりある方の演奏会(歌劇「魔笛」の抜粋?)の子供役に我が家の子供達も出てみないかとお誘いを受け出演させていただきました。

31年間の146回のコンサートで約90%以上聴くことができましたがその中で特に印象に残っているは以下のものです。

1984年冬：吉原すみれ打楽器リサイタル 共演：高橋悠治

1986年冬：須川展也とルヴァンヴェール木管五重奏のタペ

1991年春：日本音楽のタペ (横山勝也 尺八他)

1996年秋：林峰男チェロリサイタル

2005年冬：クラシック・バスカーズ コンサート

2006年春：森麻季ソプラノリサイタル

2013年冬：小曾根真 ピアノリサイタル

2014年冬：ダン・タイ・ソンピアノリサイタル

いろんなジャンルから偏りなく選ばれた一流の演奏家によるコンサート(年5回、わずか1回1000円の会費)、それを31年間も企画運営され続けたことは本当に素晴らしいことです。

改めてこの会の全ての方々に厚くお礼を申し上げます。

1996年頃の保育の様子



2014年冬
ダン・タイ・ソン



2005年冬
クラシック・バスカーズ



2013年冬
小曾根 真



わたしは三年生の頃から、この四季のコンサートに行っています。ピアノは、小さい時から習っていて、それまでピアノのコンサートには何回か行ったことがありましたが、弦楽器や木管楽器のコンサートはあまり聴いたことがありませんでした。この四季のコンサートでは、いろいろな楽器の音色を聴くことができます。去年秋に聴いたサクソフォンカルテットでは、楽器一つ一つの音色がちがって、その楽器のハーモニーがきれいで、すごく印象に残っています。

また、今年の春の篠崎さんのヴァイオリンリサイタルでは、篠崎さんが話されたおもしろい話で、会場が笑い声でいっぱいになりました。でも演奏に入ると、きれいな

音をホールに響かせて、お客さんたちをリラックスさせていました。

四季のコンサートは今年からアクトシティの中ホールですることになりました。中ホールにはパイプオルガンやシャンデリアがあって、すごく素敵な空間です。そこでこれから素晴らしい演奏が始まると思うと、とてもワクワクしてきます。

また、四季のコンサートに行くと、おじいちゃんやおばあちゃんも聴きにきていて、一緒に座って演奏を聴くことができるのも楽しみのひとつです。

これからも四季のコンサートでいろいろな演奏を聴いて、楽しんでいきたいと思います。

これからのコンサート予定

秋

工藤重典 フルトリサイタル 10月9日(金) 6:45PM(開演) ピアノ：工藤セシリア

日本を代表する国際的フルーティスト。今年は楽壇生活50周年を迎える節目ともいえるリサイタル。デビュー以来、パリを拠点に活躍し、名曲から超絶技巧を要する難曲まで、幅広いレパートリーで世界のファンを魅了し続けてきた。ソロ、室内楽、協奏曲と活躍の幅は広く、多くの指揮者、演奏家から厚い信頼を得ている。今回は、パリで育ち日本でもデビューを果たした注目のピアニスト、実娘のセシリアを共演者に迎え、フランスの香り高いコンサートをお届けします。

プログラム

1部

モーツァルト／ソナタ ヘ長調 K.376

シューベルト／ソナチネ 第1番 二長調 D384

ドップラー／ハンガリー田園幻想曲 Op.26

2部

プーランク／フルート・ソナタ

チェルニー／協奏的二重奏曲 ト長調 Op.129



写真：土井政則

冬

アンドレアス・シュタイアー フォルテピアノリサイタル 12月13日(日) 6:45PM(開演)

フォルテピアノとチェンバロのスペシャリストとして、ドイツを中心に世界的に活躍し、今や巨匠と呼ばれるに相応しい世界的鍵盤奏者。音楽への深い愛情と解釈に基づく彼の演奏は、作品の新たな魅力を引き出し、あくなき好奇心は古典に新しい風を吹き込んでいると、多くの評論家に絶賛されている。近年の来日公演は常にNHKでも放送され、日本での人気も非常に高まっている。

プログラム

1部

ガルツピ／チェンバロ・ソナタ 第4番 二長調 Op.1-4

C.P.E.バッハ／専門家と愛好者のためのソナタ集 第2集から ロンド イ短調 Wq 56-5

C.P.E.バッハ／専門家と愛好者のためのソナタと自由な幻想曲から 幻想曲 ハ長調 Wq 61-6

ハイドン／ピアノ・ソナタ 第49番 変ホ長調 Hob.XVI:49 Op.66 (ウィーン原典版番号:第59番)

2部

J.S.バッハ／音楽の捧げもの BWV1079から 3声のリチェルカーレ

J.S.バッハ／平均律クラヴィーア曲集 第2巻から 第12番 ヘ短調 BWV881

モーツァルト／ピアノ・ソナタ 第18番 ヘ長調 K.533/494



写真：Erik Maras

2016年 四季の二十 予定

各回共 於：アクトシティ中ホール

春 横坂 源 チェロリサイタル 4月15日(金)

13歳にして東京交響楽団との協演で華々しいデビューを果たし、ドイツで研鑽を積んだ、国際的な活躍を続けるチェロリスト。チェロの登竜門として知られる全日本ビバホール・チェロコンクールでは最年少で優勝。また、難関と言われるミュンヘン国際音楽コンクールでも第2位を受賞。オリヴィエ・メシアンの子弟である天才ピアニスト、藤井一興との共演にご注目ください。

夏 荘村清志 & マルク・グローウェルス デュオリサイタル 6月2日(木)

昨年デビュー45周年を迎え、2015年にはイ・ムジチ合奏団とも共演、ますます充実した演奏活動を展開する日本ギター界の重鎮、荘村清志。ソロ演奏に加え、長年の音楽仲間をゲストに迎え、ギターとフルートの息の合ったアンサンブルを聴かせます。グローウェルスとの共演は、デビュー30周年CDのリリース、また2001年の日本ツアーで好評を得て以来久々の公演となります。グラナドス、アルベニスなどスペインの作品からピアソラまでラテンの空気を存分にお楽しみください。

秋 小菅 優 ピアノリサイタル 10月10日(月・祝日)

高度なテクニックと美しい音色、若々しい感性、そして深い楽曲解釈で、世界で注目を浴びている若手ピアニストの1人。これまでに、多くの世界的な指揮者やオーケストラとの共演を果たし、国際的な評価を得ています。2006年のザルツブルグ音楽祭では、日本人で2人目となるリサイタルを開催しました。また、約5年をかけたプロジェクト「ベートーヴェン・ピアノソナタ 全曲演奏会シリーズ」も大好評を博しました。世界が認めるピアニストの演奏をぜひご堪能ください。

冬 トリオ・ティエボロ 演奏会 12月9日(金)

オルガン界第一人者の井上圭子、藤原歌劇団で近年頭角を現しているソプラノの砂川涼子、そして日フィル首席トランペッター、オッタヴィアーノ・クリストーフォリの3名。トリオ・ティエボロは、日本の音楽シーン最前列で活躍中のメンバーで編成されています。パイプオルガンのソロ演奏から、オペラアリア、クリスマスソングまで、この時期ならではのプログラムを用意しました。みずみずしく優美な音色がホール全体に響き渡ります。トリオ・ティエボロが織りなす美しい響きを存分にお楽しみください。

★会員の皆様へのお祝い★

会員日より 皆様の原稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内で。テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま登録されます。

退会希望の方は、ハガキに住所、氏名、電話、会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡ください。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所・氏名・電話・会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局までお送りください。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、岡本 ☎053(466)5417 までお申込みください。

開演時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

個人情報の取り扱いについて

当会は個人情報の取り扱いについて「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令及びその他の規範、ガイドラインを遵守し、個人情報について適切な管理・取り扱いと保護に努めます。